

平成28年8月25日

会員各位

第64回全国博物館大会
大会委員長 錢谷眞美

第64回全国博物館大会のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素、博物館の運営・活動にご努力されていることに心から敬意を表します。

さて恒例の全国博物館大会も、今年は第64回となります。

第64回全国博物館大会は、公益財団法人日本博物館協会の主催、群馬県、群馬県教育委員会、高崎市、高崎市教育委員会、群馬県博物館連絡協議会の共催のもと、文部科学省の後援を得て、平成28年11月16日(水)、17日(木)及び18日(金)の3日間にわたり、群馬県高崎市において開催します。

今回の全国博物館大会は、上毛三山(赤城山、榛名山、妙義山)や尾瀬国立公園など豊かな自然環境と、古代の東国文化をしのばせる古墳群や世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」など古代から近代に至る豊富な歴史文化遺産を有し、交流の要衝として発展してきた群馬の地に多数の博物館関係者が集い、我が国の博物館のこれからの在り方を考えることを踏まえ、そのメインテーマを「博物館をつなぐ、世界がつながる ―未来が見える―」としました。

今回の大会では博物館の置かれている現状を認識するとともに、課題等の情報を共有し、今後の各博物館の活動をより良いものにしていくことはもちろんのこと、2019年に開催されるI COM京都会議へ向けての気運の醸成、また、熊本地震による被害を受けた博物館等の復興を目的とします。

開催地である高崎市は、古くは中山道と三国街道の分岐点であり、信越・北関東・首都圏を結ぶ一大中心都市です。主会場となる群馬音楽センターは、日本近代建築20選に選ばれるほど、日本のモダニズム建築を代表する建物であり、群馬交響楽団の本拠地となっています。上毛三山に囲まれた当地で深まりゆく秋を満喫されてはいかがでしょうか。

多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

敬 具

第64全国博物館大会の趣旨・概要

第64回全国博物館大会は、「博物館をつなぐ、世界がつながる ―未来が見える―」をメインテーマとして開催します。

本大会の開催地群馬は、古代東国の中心地であり、世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を有する、世界に誇れる歴史と文化が数多く残る地です。また、群馬県立歴史博物館は1年7か月に及ぶ改修工事を終え、今年7月23日に「いにしへの鼓動を感じる博物館」としてリニューアルオープンしました。

本大会においては、各博物館が、地域の文化の中心的発信拠点としてどのように地域社会とつながり、また、世界とつながっていくかを様々な視点から考えて、明日の博物館の在り方を探る機会とします。

- (1) 基調講演では、富岡製糸場名誉顧問・総合研究センター所長今井幹夫 氏から「世界文化遺産『富岡製糸場』の歴史と現在の取組(仮題)」について講演をいただきます。
- (2) 全国博物館フォーラムでは、文部科学省・文化庁の施策の紹介を行うとともに、多様化する経営形態や博物館登録制度の在り方に関する調査研究報告書(原案)などについて説明し、フロアからの発言も求めながら、協議してまいります。
- (3) シンポジウムでは、「博物館をつなぐ ―豊かな未来に向けて―」と題して、2019年 ICOM 京都大会、熊本地震による文化財被災状況、リニューアルオープンした群馬県立歴史博物館、福島県の文化連携プロジェクト、ミュージアムパーク茨城県自然博物館の教育普及活動について、事例を交えながらパネリスト及び参加者の方々と議論を深め、今後の博物館の対話と連携の在り方について考えます。
- (4) 分科会では、全国博物館フォーラム及びシンポジウムを受けて、①「博物館と学校教育をつなぐ」(分科会1)、②「博物館と地域をつなぐ」(分科会2)、③「博物館をつなぐ IT の利活用」(分科会3)のテーマのもと、それぞれ事例発表の後、参加博物館園の方々と議論を深めていきます。

併せて、西毛・中北毛・東毛地域の文化施設等の見学を通じて、今後の博物館の活動に役立てるとともに、参加の方々の意見交換や交流の機会となることが期待されます。

<開催要項>

主催 公益財団法人日本博物館協会
共催 群馬県、群馬県教育委員会、高崎市、高崎市教育委員会、
群馬県博物館連絡協議会
後援 文部科学省
会期 平成28年11月16日(水)～18(金) 3日間
会場 群馬音楽センター、高崎シティギャラリー、
ホテルメトロポリタン高崎

群馬音楽センター

住所：〒370-0829 群馬県高崎市高松町 28-2
TEL：027-322-4527 FAX：027-322-4987

高崎シティギャラリー

住所：〒370-0829 群馬県高崎市高松町 35-1
TEL：027-328-5050 FAX：027-328-3191

ホテルメトロポリタン高崎

住所：〒370-0849 群馬県高崎市八島町 222 (JR 高崎駅 6F)
TEL：027-325-3311 FAX：027-325-4409

案内図



交通案内

【鉄道】 東京方面から	上越・北陸新幹線	東京～高崎	1時間
	高崎線	上野～高崎	1時間50分
		大宮～高崎	1時間30分
長野方面から	北陸新幹線	長野～高崎	50分
		上田～高崎	40分
新潟方面から	上越新幹線	新潟～高崎	1時間15分

高崎駅西口から徒歩 約10分

【自家用車】 上信越自動車道「藤岡IC」から約18分。関越自動車道「高崎IC」から約12分。関越自動車道「高崎玉村スマートIC」から約15分。

<日程>

第1日目：11月16日（水） 会場：群馬音楽センター

時間	プログラム
12:30～13:30	受付
13:30～14:15	開会式 挨拶：銭谷 眞美（公財）日本博物館協会会長 祝辞：文部科学大臣、群馬県知事、高崎市長 表彰式：顕彰、棚橋賞、博物館活動奨励賞
14:15～14:20	全体会議、決議起草委員選出
14:30～15:15	基調講演「世界文化遺産『富岡製糸場』の歴史と現在の取組(仮題)」 講師 富岡製糸場名誉顧問・総合研究センター所長 今井幹夫
15:30～17:15	全国博物館フォーラム ・文部科学省、文化庁からの報告 ・「登録制度の在り方に関する調査研究に関する調査研究報告書（原案）」について など
17:20～18:00	展示プレゼンテーション
18:30～20:00	情報交換会（於：ホテルメトロポリタン高崎）

第2日：11月17日（木） 会場：群馬音楽センター、高崎シティーギャラリー

時間	プログラム
9：30～11：45	<p>シンポジウム「博物館をつなぐー豊かな未来に向けてー」</p> <p>司会 群馬県立歴史博物館 館長 右島和夫</p> <p>講師 京都国立博物館 館長 佐々木丞平</p> <p>講師 九州国立博物館 学芸部特任研究員 本田光子</p> <p>講師 福島県立博物館 未定</p> <p>講師 ミュージアムパーク茨城県自然博物館 教育課長 青木賢一</p>
11：50～12：30	展示会プレゼンテーション／決議起草委員会
12：30～13：30	昼食、休憩
13：30～15：45	<p>分科会1「博物館と学校教育をつなぐ」</p> <p>司会 群馬県立土屋文明記念文学館 学芸係長 笠井 誠</p> <p>講師 太田市教育委員会 歴史施設課長 須永光一</p> <p>講師 岩宿博物館 館長 小菅将夫</p> <p>講師 群馬県立館林美術館 教育普及係 齊藤由紀子</p> <p>講師 ハンズ・オン プランニング 代表 染川香澄</p> <p>分科会2「博物館と地域をつなぐ」</p> <p>司会 群馬県立歴史博物館 教育普及係長 深澤敦仁</p> <p>講師 アーツ前橋 館長 住友文彦</p> <p>講師 かみつけの里博物館 次長 清水 豊</p> <p>講師 重要文化財彦部家住宅 当主 彦部篤夫</p> <p>講師 中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 館長 山口通喜</p> <p>分科会3「博物館をつなぐITの利活用」</p> <p>司会 群馬県立自然史博物館 次長 岩井利信</p> <p>講師 富岡製糸場 戦略課長 稲塚広美</p> <p>講師 ハラ・ミュージアム アーク 副館長 青野和子</p> <p>講師 群馬県立歴史博物館 学芸係長 築瀬大輔</p> <p>講師 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 教授 高田浩二</p>
16：00～16：30	全体会議、閉会式

分科会 1 : 博物館と「学校教育」の関係に関する様々な実践事例を報告する。
これらの事例報告を通じて、博物館が、「教育」にどのように寄与し得るのかという点について考える。

分科会 2 : 群馬県内の博物館と地域の連携について、多様な事例を報告する。
これらの事例報告を通じて、地域と連携することで、どのような博物館運営が可能になるのかという点について考える。

分科会 3 : I T 技術を活用した様々な事例を報告する。
これらの事例報告を通じて、今後博物館が戦略的にどのように I T を利活用できるかという点について考える。

第3日：11月18日（金）

時間	プログラム
9：00～16：00	施設見学

* 9時より自由参加プログラムとして、施設見学を行います。（参加費無料・各コースとも貸切バス利用、昼食：各自）
ご希望のコースをお選びの上、お申し込みください。

<施設見学コース>

◆Aコース（西毛コース）（バス）

高崎駅 9:00

⇒ 9:30 アーツ前橋 10:30⇒
⇒11:30 富岡製糸場と周辺散策（昼食：各自） 14:00⇒
※途中下車（上信電鉄上州富岡駅）
⇒14:30 群馬県立自然史博物館
or 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館 15:20⇒
⇒16:00 高崎駅

◆Bコース（中北毛コース）（バス）

高崎駅 9:00

⇒ 9:30 かみつけの里博物館 or 群馬県立土屋文明記念文学館 10:30⇒
⇒11:30 道の駅川場田園プラザ（昼食：各自） 12:30⇒
⇒13:00 大河ドラマ展「上州沼田真田丸展」 14:00⇒
※途中下車（JR沼田駅 13:10）
⇒15:00 高崎市タワー美術館 or 高崎市美術館
⇒16:00 現地解散（高崎駅まで徒歩3分）

◆Cコース（東毛コース）（バス）

高崎駅 9:00

⇒ 9:20 群馬県立歴史博物館 10:00⇒
⇒11:00 スバルビジターセンター（昼食：各自） 12:20⇒
※途中下車（東武鉄道太田駅 12:30）
⇒13:00 桐生新町重要伝統的建造物群保存地区散策（“紫”まで）
バス出発 織物参考館”紫” 14:00⇒
⇒14:20 岩宿博物館 15:00⇒
⇒16:00 高崎駅

*各コースのより詳細な情報については、後添<見学施設の紹介>を参照。

資料交換のご案内

資料交換ご希望の館園は、パンフレット、リーフレット等各500部を平成28年11月14日（月）必着にてご送付ください。

送付先：〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1
群馬県立歴史博物館 全国博物館大会事務局あて
TEL：(027) 346 -5522 FAX：(027) 346-5534

情報交換会のご案内

大会を機に親睦を深め、情報を交換する場として、下記により情報交換会を開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成28年11月16日（水）18時30分～20時00分
会 場 ホテルメトロポリタン高崎
〒370-0849 群馬県高崎市八島町 222（JR 高崎駅 6F）
TEL：027-325-3311

参加費 6,000円

※ 情報交換会のキャンセル受付は、10月28日（金）までとさせていただきます。それ以降は、キャンセルの場合でも参加費を申し受けますので、予めご了承ください。

参加申込み方法のご案内

大会参加申込み及び参加費お支払の締切は平成28年10月28日（金）です。

参加申込 ①別紙申込書にご記入のうえ下記宛に郵便またはFAXでお送りください。

②参加費を指定の口座にお振り込みください。

大会参加費 会員 6,000円 会員外 10,000円
情報交換会費 6,000円

※ご入金の確認をもってご参加の受付完了となります。

申込書送付先	公益財団法人日本博物館協会「大会係」 〒110-007 東京都台東区上野公園12-52 黒田記念館 別館3階 TEL (03) 5832-9108 FAX (03) 5832-9109
支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便振替 番号：00190-3-80123 加入者名：公益財団法人日本博物館協会 ・現金書留 上記申込書送付先へ、申込書を同封の上ご送付ください。 ・三井住友銀行 霞が関支店 (普) 5195412 口座名：公益財団法人日本博物館協会 <p>※<u>銀行振込をご利用の場合は、必ず①お振込日時、②お振込み人様名義、③参加者氏名、④参加者のご所属、をご連絡ください（電話でもFAXでも結構です）。</u></p> <p>銀行振込の場合、お申し込み者様とお振り込み人様の照合が困難な場合があります。ご入金の確認をもってご参加の受付完了となりますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。</p>

* 申し込みいただいた方は、11月16日（水）から11月20日（日）までの間、群馬県の博物館等施設（一部）の入館料が無料になります。

【この期間の該当館入館の際には、参加者に配付されるパスカード(11月16日(水)の午前中は、提出された参加申込書の写し)をご提示ください。】

詳しくは、(公財)日本博物館協会ホームページをご覧ください。

(後添)

<見学施設の紹介>

◆Aコース（西毛コース）（バス）

【アーツ前橋】

企画展や収蔵品の展示を行う公立美術館です。商業施設を改修し、ゆるやかな曲線を描く白いパンチングメタルとガラス面で覆われた開放的なデザインとなっており、展覧会のほか、参加・対話型のプログラムを中心とした事業を行っています。

【世界文化遺産・国宝 富岡製糸場】

明治5年に政府が設立した官営模範器械製糸場で、先進的技術を国内各地に伝播するとともに、日本の近代産業に大きな影響を与えました。その近代日本を象徴する、フランスと日本の技術が融合した当時の建造物群が良好な状態で保存されています。

【群馬県立自然史博物館】

地球の誕生から生命進化の歴史、群馬県の豊かな自然を紹介する博物館。ティランノサウルスの動く実物大模型や全長15mのカマラサウルスの全身骨格標本、群馬の豊かな自然を再現したブナ林のジオラマなどは迫力満点。質の高い企画展も毎回大好評。

【富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館】

美術館と博物館の両機能を備え、近現代美術の重要な作家・郷土にゆかりのある作家の優れた美術作品や、周辺地域の考古・歴史・民俗資料を収集、展示しています。また、富岡市出身で名誉市民でもある福沢一郎画伯の画業を顕彰する記念美術館を併設しています。

◆Bコース（中北毛コース）（バス）

【かみつけの里博物館】

常設展示では1500年前の社会を、研究成果をもとに復元した模型や出土品などで紹介しています。博物館周辺には、築造当時の姿に復元整備した「八幡塚古墳」や「二子山古墳」があります。古墳頂上からの眺望は素晴らしく、古墳時代の世界に想いを馳せることができます。

【群馬県立土屋文明記念文学館】

群馬ゆかりの文学を中心として扱う県立の文学館です。日本を代表する歌人土屋文明の生地近くに1996年に開館しました。土屋文明の生涯と短歌の世界を常設展示しているほか、大会期間中は、開館20周年記念「角田柳作とドナルド・キーンー群馬から世界へー」を開催しています。

【道の駅 川場田園プラザ】

田園プラザ川場は、大自然の恵みを一堂に集めた村のタウンサイトです。川場の豊かな自然に育まれた天然の食材は、新鮮でおいしさいっぱい。「関東好きな道の駅5年連続第1位」、「日経プラス1 家族で一日楽しめる道の駅 東日本第1位」に選出されました。

【大河ドラマ展「上州沼田真田丸展」】

上州沼田真田丸展では、歴史に残る蒼々たる名将たちが沼田城を狙っていたことや、今もなお、沼田の人々に愛されている小松姫のエピソードなど、沼田が真田家と深いかわりがあることを、大河ドラマ「真田丸」の世界を通じて紹介しています。また、題字を制作した挾土秀平さんの作品も実物展示しています。

【高崎市タワー美術館】

日本画を中心とした展覧会を年間5～6回開催し、より多くの方々に日本画を楽しんでいただけるよう、展覧会にあわせた作品解説会や講演会なども行っています。

【高崎市美術館】

近・現代美術を中心にバラエティに富んだ展覧会を年間5～6回程度開催。山口薫や鶴岡政男など高崎ゆかりの作家やピカソ、シャガールなど国内外作家の作品を約1300点所蔵。建築家アントニン・レーモンドのスタイルを取り入れた旧井上房一郎邸も観覧できます。

◆Cコース（東毛コース）（バス）

【群馬県立歴史博物館】

原始・古代・中世・近世・近現代にいたる群馬県の歴史や文化の特色について、実物資料を中心に模型・映像などを用いてわかりやすく、かつ楽しみながら学べます。古代東国における中心地として栄えた古墳王国・群馬について展示する東国古墳文化展示室、館蔵コレクションや地域・学校と連携した展示など、フレキシブルな展示を展開するテーマ展示室が新設されました。

【スバルビジターセンター】

スバルビジターセンターは2003年7月15日にオープンし、工場見学のお客様にスバルの歴代の車、スバルの個性的な技術や安全への取り組みなどを紹介している施設です。工場見学の際は専任の案内係が丁寧にご案内いたします。

【桐生新町重要伝統的建造物群保存】

天正19年（1591年）に徳川家康の命を受け、代官大久保長安の手代大野八右衛門により新たに町立てされ、在郷町として発展してきました。町立て当初からの敷地形態と共に、当時から生産が行われ、近代の桐生を代表する産業である絹織物業を中心に発展した町の形態として、江戸後期から昭和初期に建てられた主屋や土蔵、ノコギリ屋根の工場など、絹織物業に係わる様々な建造物が一体となり、製織町として特色ある歴史的な環境を今日に伝えています。

【織物参考館”紫”】

桐生の織物、染色に関する学習の場として、明治から昭和にかけて使用された織機や道具資料約1,200点を展示。併設の工場見学、手織、染色教室もあり実体験できます。特に本藍を用いた藍染めは専任講師の指導の元、容易にできると好評。

【岩宿博物館】

岩宿遺跡に隣接し、日本に縄文時代以前の文化が存在することを初めて科学的に証明した岩宿遺跡の発見と発掘、数万年前の日本列島と人類の暮らしなどを模型や映像も加えて展示。また、石器作りの体験学習は当館の特徴的な事業となっています。